

瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第44報 ～

NEW 2004年1月からピコ植物プランクトン情報を追加しました。

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成16年2月9日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



Cyclotella glomerata
(ヒメマルケイソウ)
珪藻綱

殻面は円形で、その直径は4～10 μmと小さい。
多数が鎖状に結合して群体をなす。

動物プランクトン第1優占種



Polyarthra vulgaris
(ハネウデワムシ)
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。
前部に2本の触角がある。

コメント

植物プランクトンは、珪藻に属するキクロテラ グロメラータが非常に多く計数され、冬季の総細胞数としては、珍しく多い細胞数となった。この調査では、占有率をみても珪藻綱は、細胞数で全体の98%とほとんどを占めていた。動物プランクトンは、ハネウデワムシが多かった。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	80

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
繊毛虫類	<i>Carchesium</i> sp.	20

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当

(2) 植物プランクトン

平成16年2月9日

第44報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	3800		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	210		
(珪) <i>Synedra</i> sp.	10		
(珪) <i>Navicula</i> sp.	10		
(珪) <i>Gomphonema</i> sp.	10		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	630		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	60		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	100		
(み) <i>Trachelomonas oblonga</i>	10		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	10		
(緑) <i>Carteria</i> sp.	10		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	4680	96.1	90.9
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	160	3.3	8.1
(み) みどり虫藻綱	10	0.2	0.1
(緑) 緑藻綱	20	0.4	0.9
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	4870	総体積	1.48E+06
種類数	12	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

(3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

ピコ植物プランクトン数	2月9日 細胞数/ml
藍藻類 <i>Synechococcus</i> sp.	4,000

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが0.2~2 μm (1 μm は1mmの1,000分の1)の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、観察するためには落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。